

ザゼンソウと会いライトハイクはどうですか
玉宮ザゼンソウ群生地～小倉山

実施日 2019年3月17日(日)

天候 晴れ/曇

リーダー 涌井 良明

参加者 服部美千代、涌井良明、鈴木政三、白石恵美子、石附智江、石原勝正、徳山敬子、瀧澤きよの、白石佐恵 計9名

費用 JR2,280円(高尾起算) 車1,400円

タイム 塩山駅(9:27~35)玉宮市営P(9:40~9:50)ザゼンソウ群生地(10:00)小倉山登山道(10:16)小倉山分岐(10:30)小倉山(10:45~11:35)昼食)上条山(12:15)上条峠分岐(12:38)平沢集落分岐(12:56)太陽光所(13:05)玉宮市営P(13:20~50)塩山駅(14:05)

寒気の吹き出しで不安定な天気が予想されたが、春の息吹も感じさせてくれたザゼンソウに会うこともできてことのほか天気も味方してくれて、それこそノンビリとライトな歩きを楽しめた。もちろん塩山名物?〇〇も忘れずに…!(^^)!

高尾で混雑していた電車も塩山で降りた山支度は我々の他数人、まだまだ大菩薩はシーズン前のようだった。



数十分で玉宮市営Pに、車はそれなりに止まっているので、ザゼンソウ見物には来ているようだ。

鹿など食害防止の電気柵に囲まれている。鹿は適度の間引きが必要なのだ。

このままでは日本中の花の名所や美林が食害放題になってしまうのが心配だ。

さて、木道の両側にはポツポツとワインレッドの苞の中に鎮座する座禅僧が現れるがどういう訳か木道に背を向けているものが圧倒的に多い、見られるのが恥ずかしい?! 皆で写真撮りに興じながらノロノロと進み、小倉山への道になる。

明るい登山道でスーッと高度が上がり、尾根上に出て右へ、やや急な登りもあるが疲労は感じないまま立派な展望台のある小倉山山頂だ、3階程の高さの展

望台からは塩山から甲府に至る盆地が広がりが箱庭の眺めだ。地名になった塩山もまるで古墳のように見える、遠望は春霞?でそれほど良くないが鋸岳-甲斐駒などがボンヤリしていた。



早めの昼食を遅めにゆっくり時間

かける。日も陰るが風がないのでそれほど寒く無いのが助かる。

集合写真後にまだ昼前だが、後半の歩きになる、登りついた尾根ポイントまで戻り上条峠方面



に尾根を進む、やっと山歩きらしくなった道を辿る、岩も混じったやや痩せ気味の登りなどをこなして登ると上条山頂稜



なって北端に山頂標識を見る。短い急な下り登降があって上条峠への分岐点で少し白さの見える大菩薩を眺めて左へ下る。

下った峠状のたるみから左に見える沢に沿って下るのだが、落ち葉で踏跡が分かりづらく要注意である。直進すると更に高柴山～柳沢峠へ続く山稜である。

下って橋で沢を渡り、太陽光発電所脇から平沢集落分岐を分けてスタートした市営Pに戻って今日の歩きはチャンチャン。



車で塩山へ戻り、いつもの店?で馬刺しとホウトウで宴会?(@_@)

春を告げるザゼンソウと、短いながら登降を繰り返した歩きもあって、笑いの絶えない楽しい山行だった。TVで笑って過ごすことが長生きの秘訣と最高齢の爺やがにこやかに話していた。

こぶし会員もあやかりましょう!
 (記&写真・涌井 良明)
 (写真提供・石原 勝正)